

平成24年度 学校関係者評価書

学校名	和歌山市立 宮 小 学校
作成日	平成 25年 3月 1日

1 教育目標

心身共にたくましく、明日の社会を築く、創造性豊かな子どもの育成

2 学校の自己評価についてのご意見

	開かれた学校	ゆたかな心	確かな学力
重点目標に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの子どもを深く見つめる 学校での子どもの様子を地域に伝え、地域からも子どもの様子を伝えながらより深く子どもを見つめていってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの心をたがやす がんばって取り組んでくれていると思う。しかし、卒業してもそれが生かしているかが課題ではなからうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 「授業」で子どもを鍛える 勉強がわかるということはとても大切なことである。
取組の状況に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> 子どもを応援する目で見つめることは大切なことである。 学校からの情報発信は地域と学校をつなぐ上で大切である。 アルミ缶集めで地域とつながっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣や生徒指導の徹底や道徳授業を充実させることに取り組んでくれていると思うが、中学校に進学してもそうであってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 確かな学力を身につけ、学力を向上させるために授業を大切にすることは大切なことである。
検証結果に対する意見 取組の適切さの	<ul style="list-style-type: none"> 学校からの情報発信では、保護者の30%が「あまりそう思わない」「思わない」と回答していることから、改善が求められている。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者アンケートでは、「いじめ」に関しては厳しい結果になっている。取り組んでくれていると伝わらないこともあるだろうが民生委員の方や関係機関とも連携して取り組んでいくことが必要である。 本校から中学校へ進学した生徒の中に生活指導面で気にかかる事例があるとのことをご指摘いただいた。 	<ul style="list-style-type: none"> 理解できていない児童、また学習に意欲をなくしている児童への働きかけが特に必要である。中学校へ向けて、高学年の学習への意欲の減退は、生徒指導の課題となってあらわれるのではないだろうか。
改善方法に向けての 次年度に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> 防災の面からも地域との連携が一層必要と思われる。(非常災害時、避難所開設に関わる情報を共有しておく必要がある。) 中学校へ進学していても素直でよい生徒になっていってもらえるよう、いっそう地域での交流の場が必要でないだろうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもセンター事業や育生会の事業はじめ地域で保護者がもっと交流し合える場を多くし子どもたちを地域でも育てていく必要があるのではないだろうか。 中学校との連絡を更に密にし中学校に入学した後の様子も視野に入れながらの指導が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的な学力の不足している児童への指導は、小学校で必要である。

3 其他のご意見